

世界の生物多様性につながる日本の消費

地球・人間環境フォーラム
飯沼佐代子

1

生物多様性のイメージ



保護区、里山・・・

自分たちの暮らしとはかけ離れている

2

私たちの暮らしとのつながり

衣・食・住、医療、環境、文化・・・

私たちは、様々な生物多様性の恩恵を享受し、
同時に生物多様性に様々な影響を与えている

エコロジカル・フットプリント

経済・消費活動(廃棄まで含め)を支えるために
必要な土地・水域面積を示す値

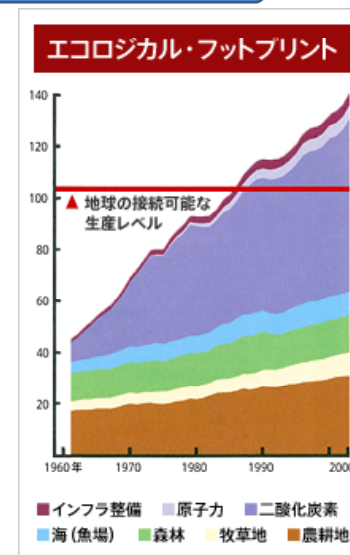
3

私たちの暮らしとのつながり

世界規模では・・・

- エコロジカル・フットプリントは1980年代に地球の生産量を上回った。
- 2005年には地球1.3個分の資源を利用している。
- オーバー分は未来の世代から資源の前借り(元本食潰し)

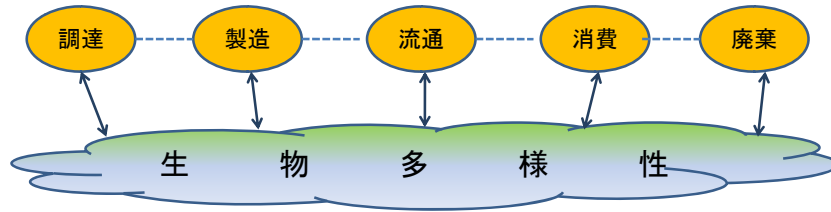
WWF「生きている地球レポート」より



4

私たちの暮らしとのつながり

私たちが消費するモノの原料調達から廃棄に至る各段階で、生物多様性とのつながり(資源利用、生物の関わり、環境への負荷等)がある



5

私たちの暮らしとのつながり

- 食糧自給率(カロリーベース) 40%(1965年:73%)
- 小麦 14%(65年:28%)
- 牛肉 43%(飼料自給率を換算すると11%,65年:95%)
- 水産物 62%(65年:110%)
- 植物性食用油脂 2%(菜種油0.05%、大豆5%,65年:31%)
- 木材自給率 20%(60年:87%)

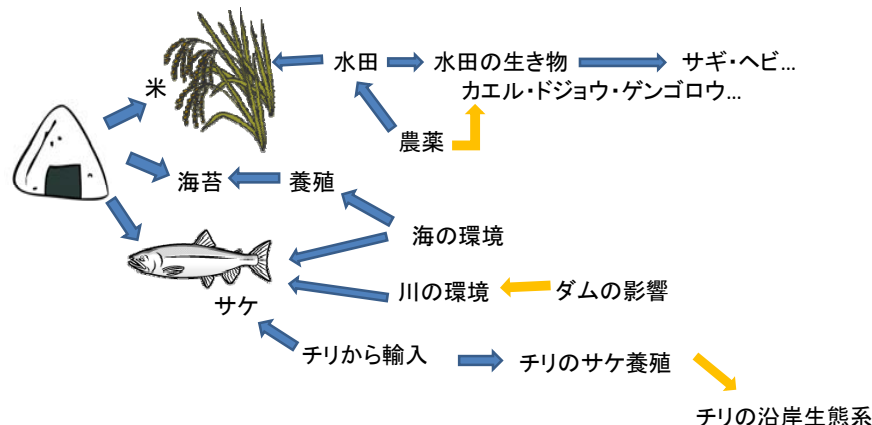
私たちは食糧の60%、木材の80%、鉱物のほとんどを海外の「土地」に依存している。

日本の今の暮らしを支えるためには日本の面積の15.4倍の資源が必要!

自給率の出展:農水省Web サイト

生物多様性と暮らしの関係性マップ

サケおにぎりの例



7

身近なモノと生物多様性のつながりを理解する

日本の天然サケ

- 在来種
- 海と川で自然に成長(餌やりも抗生物質も不要)

適切な漁獲量を保てば生物多様性に影響しない持続的な資源

日本のサケ消費量の半分が輸入品その8割は養殖(チリから4割以上)

国産天然サケの4割が中国を通じて欧米へ輸出されている

チリの養殖サケ

- 外来種(南半球にはサケはいない)
- 1kgのサケを育てるのに5-10kgの小魚が必要
- 餌の残りカスや抗生物質が海中に残留

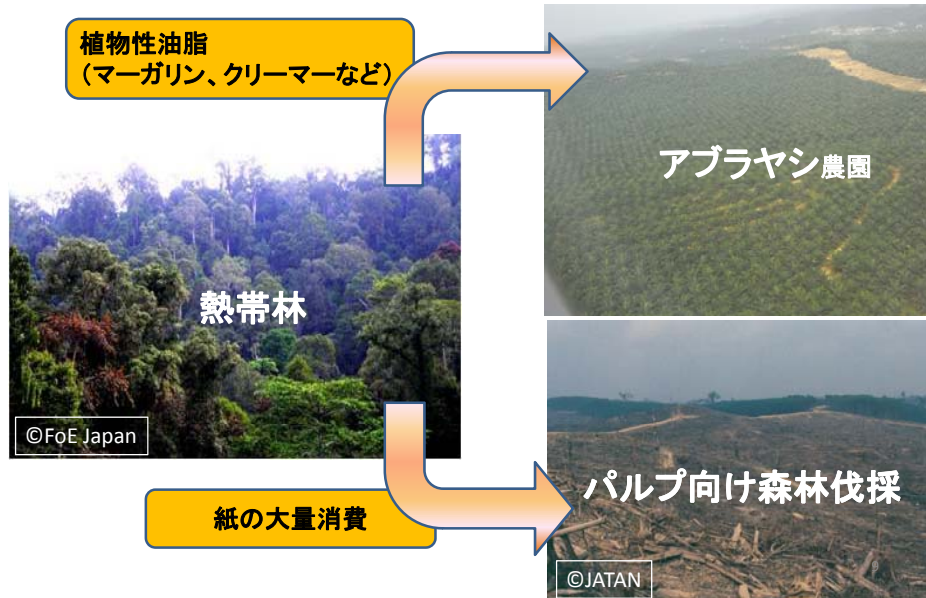
沿岸生態系への影響

+フードマイレージ

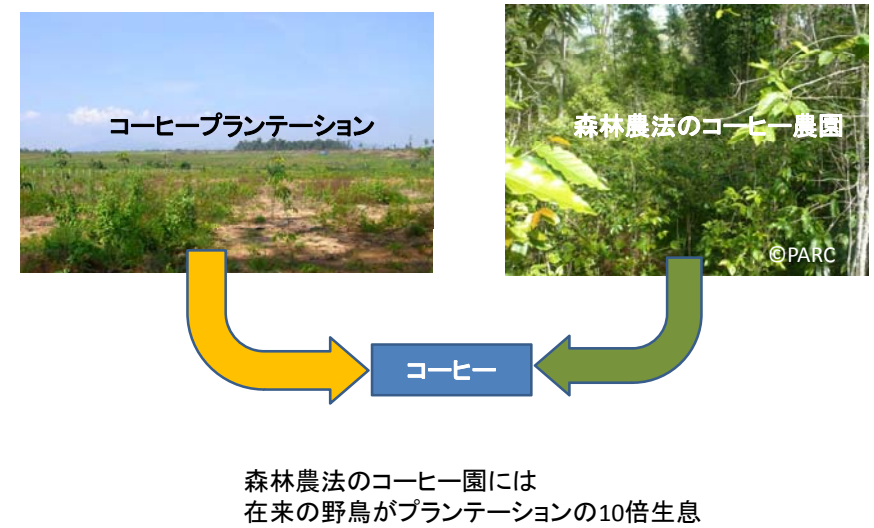
大規模養殖は生産地の生物多様性に大きな影響を与えている

8

身近なモノと生物多様性のつながりを理解する



身近なモノと生物多様性のつながりを理解する



身近なモノと生物多様性のつながりを理解する

買い物(お金を払うということ) = その商品への投票行動

どこで、どのように生産されたものかにより、
生物多様性との関係も異なることを知る

環境と生物多様性に配慮した消費行動の選択へ